

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（令和5年度）

| | |
|---|---|
| 基金の名称 | 畜産高度化支援リース基金（畜産高度化支援リース事業） |
| 法人名 | 一般財団法人畜産環境整備機構 |
| 基金額（機構補助金等相当額） | 17,496百万円（17,496百万円）（令和5年4月1日現在） |
| 基金事業の概要及び目標 | 畜産経営における家畜排せつ物の利活用の促進及び環境整備、食肉や生乳流通の効率化・合理化に必要な施設等の導入をリース方式で支援することにより、我が国畜産の安定的発展を図る。 |
| 基金事業を終了する時期 | 設定していない。 堆肥保管施設整備リース事業は、平成26年度の新規貸付分の貸付金回収を令和15年度まで実施し、令和16年3月に基金を閉鎖する予定。 畜産環境対策リース事業は、令和6年度まで新規貸付を実施、貸付料の回収を令和25年度まで実施し、令和27年3月に基金を閉鎖する予定。 |
| 給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制 | 畜産高度化推進リース事業実施要綱別添2及び畜産高度化支援リース事業実施要領に基づき申請を受け付け、審査等を行う。 |

2. 見直し結果（令和5年度）

| 項目 | 講ずる措置 | | |
|----------------------|--|----------|----------|
| 実施した見直しの概要 | 「畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準」（平成19年3月28日付け18農畜機第4545号）に基づき、毎年度見直しを行っている。 | | |
| 基金事業実施時期 | 平成22年度～ | | |
| 収入・支出等 （令和4年度実績） | ① 期首残高 | 8,465百万円 | |
| | ② 収入 | 貸付料返還収入 | 1,847百万円 |
| | | その他 | 156百万円 |
| | | 合計 | 2,003百万円 |
| | ③ 支出 | 事業費 | 1,575百万円 |
| 管理費 | | 142百万円 | |
| 合計 | | 1,717百万円 | |
| | ④ 期末残高（①+②-③） | 8,751百万円 | |
| 交付決定等実績 （令和4年度実績） | 交付決定等件数 155者 交付決定額等 1,575百万円 | | |
| 基金の保有割合 | 算出した保有割合は「1.00」であった。算出に用いた方式及び数値は以下のとおりである。 | | |

| | | |
|-----------------------------|--|-----------------------|
| <p>基金の保有割合の算出</p> | <p>(算出に用いた方式) 保有割合=①直近年度の基金残高 / (②直近年度の貸付残高+③令和5年度貸付見込 (過去5か年の新規貸付額平均) -④令和5年度回収額見込 (直近5か年の貸付回収額平均) +⑤令和5年度管理費見込 (直近5か年の管理費平均) +⑥令和5年度返還見込</p> <p>(算出に用いた数値) ①直近年度の基金残高 8,751百万円 ②直近年度の貸付残高 8,745百万円 ③令和5年度貸付見込 (過去5か年の新規貸付額平均) 1,264百万円 ④ 令和5年度回収額見込 (過去5か年の貸付回収額平均) 2,305百万円 ⑤ 令和5年度管理費見込 (過去5か年の管理費平均) 215百万円 ⑥令和5年度返還額見込 832百万円</p> | |
| <p>使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果</p> | <p>使用見込みの低い基金等の該当の有無</p> | <p>有・無</p> |
| <p>その他</p> | <p>(使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果)</p> | |